



はくろ（白鷺）の散歩Ⅶ

令和7年10月20日
～校長室の窓から～ 令和7年度 No.11
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【翠星祭文化部門1日目】

開催式の後、令和7年10月18日（土）の午前10時から一般公開が始まりました。

10時から中庭で、あらかじめ依頼されていた翠星祭体育部門実行委員会による「気配切り」に参加しました。これは新聞紙の刀で、目隠しされた者同士、気配と仲間の声を頼りにチャンバラを楽しむというもので、校長・副校長チームとして生徒や先生たちのチームと対戦しました。結果は見事一回戦負けでしたが、いろいろな学年の生徒たちと一緒に楽しむことができました。

次に、視聴覚室で行われた2年生の英語スピーチの様子を見に行きました。2年生は授業中に世界遺産をテーマにスピーチを行い、今日はその優秀者が出場しています。

午後は、体育館ステージで行われた演劇部の公演に行ってみました。演劇部は、「よこしまな僧侶」、「超能力家族」という二本立ての公演でした。いずれもよく練られた脚本で、生徒たちは熟演していました。

次に校内での展示を見学してみました。展示は主に前期生の教科の学習内容の発表と部活動や委員会の展示があります。教科の学習内容の展示はどれもレベルの高さを感じましたが、とくに美術のデッサンは、どの作品も秀逸で、とても中学生段階の作品とは思えないものばかりでした。また、年々レベルが上がっています。



2階モールに設置された、ブロックごとのテーマをイメージした装飾も目を引きました。



【翠星祭文化部門2日目 学年発表】

文化部門2日目の目玉の一つは、午前中に体育館ステージで行われた前期生の学年発表です。

1学年は、オリエンテーション合宿や「発明王」、学年目標を詩で表現しました。クラスによっては、ラップで表現するところもあり、斬新でびっくり。2学年は学年合唱曲をもとに、笑顔、友情、幸せをテーマにした劇でした。クマのぬいぐるみをうまい小道具にしていました。3学年は平和をテーマに「手紙～拝啓八十年後の君へ」という劇でした。どの学年もみんなで創り上げることを大切にしていたように思います。とくに3学年は昨年ものから大きく飛躍したように思いました。

